



2022年11月12日(土) 17:00 開演  
桜美林学園 莉冠堂チャペル

主催 100周年記念事業実行委員会 企画・制作 桜美林大学 芸術文化学群



# GREETINGS

## 100年後にも美しい桜を咲かせるために

時針、分針、秒針が一刻一刻と時を刻むに連れて、過去から未来へと時が移って行きます。ともすれば時間の経過は過去の出来事や思い出を風化させてしまいます。我が桜美林学園は1921年に中国北京市の朝陽門外に小さな学校としての産声を上げました。東京に移植された桜の苗木が風雪に耐えて2021年に100年目の桜を見事に咲かせました。本日、2022年11月12日には、すべてのオペリンナーが一堂に会して満開の桜の園に老いも若きも集って、春の桜に勝るとも劣らない秋の桜を満喫できることは、桜美林というその名の如く、卒業生と在学生が一年365日美しい桜の林を大切に守り続けたからです。創立100周年のために能祖将夫教授が書き下ろしてくださいました素晴らしい脚本による『合唱物語 石ころの生涯』が、記念すべきこの日に公演されることになり、この大イベントにさらに美しい花が添えられたことに、この上ない喜びを感じます。

我が桜の園の父である清水安三先生もこの公演に「お陰さんで、わしも参加させてもらいました」と天国からお喜びのメッセージを送ってくださっていると思います。果たして安三先生は、来る2121年に迎える創立200周年を祝う日のことを、神様にどの様に祈っておられるのでしょうか?私たちはその神様への祈りを実現させるべく、次の100年に向けて、今日からすべてのオペリンナーが共に手を取り合って、永久不滅の桜美林を築いて行こうではありませんか。



小池一夫  
桜美林学園 理事長

## オペリン・ドリーマー

人は大人になるにつれて、夢のとらえ方が三つに分かれるように思えます。夢は捨てるもの、夢は見るもの、夢は生きるもの。清水安三先生は、この三つの生き方を生涯貫いた方ではなかったでしょうか。そう、夢に生き、夢を形にしていく無我夢中のドリーマー。

この生き方、誰かに似ていると気がつきました。常識外れの夢を追ったところ。貧しい人、弱い人のために我が身を投じたところ。宗教に生かされ、教育に生きたところ。飾らぬところ。そう言えば、その人も石に縁がありました。「石っこ賢さん」と呼ばれた宮沢賢治です。二人の共通点は、「どこまでも、どこまでも」という姿勢、夢を追って転がる石、夢を形にしようとする意志。

「夢」は「憧れ」と言い換てもいいかもしれません。安三先生は夢見る人であり、憧れる人だった。藤樹に、新島襄に、貧乏牧師に、ペトキンが後を託した息子ジョンに、ジャン=フレデリック・オペリンに、そして何よりイエスに。彼らに憧れて、その愛の生き方を実践した。

憧れは、人に最も大きな力を与えます。憧れるからこそ、無我夢中になれる。けれど今は夢を、憧れを持ちにくい時代かもしれません。だからこそ、私たちは安三先生の精神を引き継ぎたい。無我夢中で今回の舞台を創りながら、私自身が強く感じたことです。

キャストとスタッフには在校生、卒業生、教職員ら、オペリン・ドリーマーが集いました。加えて私の敬愛する作曲家、長生淳さんという最大のドリーマーも。

本日は最後まで、夢見る時間をお楽しみいただけますと幸いです。



能祖将夫  
芸術文化学群 演劇・ダンス専修 教授  
芸術文化学群長  
桜美林パフォーミングアーツ・  
インスティテュート所長  
プロデューサー

## たとえば学而事人

このたびは桜美林学園創立百周年、まことにおめでとうございます。能祖先生とのご縁でこの『合唱物語 石ころの生涯』に関わらせていただきましたこと、とてもありがとうございました。最初に話をいただいた時は「能祖さんのことだからきっと面白いだろう」というぐらいのところでした。それが実際に『石ころの生涯』を拝読し、その、フィクションでもこうはならないだろうというほど波瀾万丈な人生に驚かされ、また強く感銘を受けました。人を助けたいという気持ちを強く持っていましたから、それを実行にうつす類い稀な行動力もあり、情に篤く、これでもかというような困難を乗り越えてこられた、なんとも偉大な方だったというのがよくわかる……などというのは、いまさら申し上げるまでもないことでしたね。加えて親しみやすい、かざらぬお人柄だったようで、そこにもとても惹かれました。

こうやって清水先生の足跡にふれられたことだけでも、じつに貴重な機会と感じております、また場面場面でのお言葉一たとえば学而事人一がぐっと胸に響き、それらの思いを、物語に上乗せしてお届けできるようにと心掛けました。それはささやかなものながら、演奏で大いにふくらませていただくことで、そして朗読・演劇・ダンスなどと寄り添うことで、きっとよく先生を偲ばせるものとなることでしょう。それが次の百年に向けて踏み出してゆく、後押しのひとつとなることを願っております。



長生淳  
作曲家

## めでたや、めでたや100周年!

桜美林学園、創立100周年、まことにおめでとうございます。

そしてこの100周年を記念して企画された大イベントの一員に加えていただいていると存じます。私にとっての桜美林学園は、単に高校・大学の8年間の(なぜか大学は5年行きました)学生生活というだけでなく、高校は桜寮での寮生活から薔薇寮への引っ越し、大学中文科時代では落語研究会に打ち込むあまりの劣等生生活、大学生ながらも甲子園優勝に狂喜乱舞した思い出、色々な貴重な経験を積ませていただきました、まるで宝箱のようなところです。その生活の中では安三先生を怒らせたり、学長室に呼ばれたこともあります。けれども大学の卒業式には肩を抱いて一緒に写真に写ってくださったこと、あの笑顔はいまだに忘れることができません。先輩方には落語家になってからも、同窓生として落語会を企画していただけたり、色々とお声をかけていただけたり、いつも私は桜美林学園の子で良かったなあと思っています。こんなに規模や学びの種類が広がって、知らない分野の学部もいっぱいあって、もう私などお呼びじゃないなあと思っていたところの100周年企画に、とっても嬉しく、光榮です。そしてどんなに学園の規模が大きくなってしまっても、時代が変わっても、桜美林に流れる安三スピリットは変わっていないのだなあとつくづくと思っています。

本日の、世代を超えた桜美林魂の集大成「合唱物語 石ころの生涯」をどうぞよろしくお楽しみくださいませ。



古今亭菊千代  
落語家

## 価値あるものを響かせて

本日は、桜美林学園創立100周年記念公演「合唱物語 石ころの生涯」にお越しくだり、心より歓迎致します。本学園創立者、清水安三先生の生涯を、本日この公演を通してご紹介できることを、本学の芸術教育・研究に携わる者の一人として感謝しております。

「建学の精神」を生きる、ということは、その精神に立脚し教育・研究を行っていく営みです。生徒・学生との言葉のやりとりにおいて、それをどう語るか、私自身日々問われていることなのですが、この作品を通じ自分自身のアプローチに変化がありました。それは清水先生ご自身の視点です。清水先生は何を見、どう生きたのか。本日の公演では、その清水先生の世界観・人間観といった価値あるものが、生き生きと現わされることと思います。私自身この作品を通じ、清水先生を観、聴く、経験をしています。そしてそれは私の中で清水先生を新たにしてくれています。

合唱を担当する私にとって、本日の公演は、マスクを取って行う久しぶりの公演でもあります。コロナ禍において芸術活動も制限を余儀なくされていましたが、とりわけ合唱は厳しい状況の中にはあります。本日の合唱団の人数は、この荊冠堂チャペルの舞台を念頭にしたもので、また日本合唱連盟の飛沫試験データ等を参照し歌い手のディスタンスを確保しています。

公演をどうぞ最後までお楽しみください。音楽、朗誦、演劇、ダンスが織りなす「合唱物語 石ころの生涯」が、清水先生が見つけた「価値あるもの」を響かせていきますように。



植木紀夫  
芸術文化学群 音楽専修 教授  
指揮者・教会音楽家

## 愛と希望と夢と信念

桜美林学園創立100周年、まことにおめでとうございます。私は、2005年より桜美林大学で声楽・オペラの指導をさせて頂いております。本日、合唱物語「石ころの生涯」では、マリアを歌わせて頂きます。

能祖先生から初めて台本を頂いた時、直ぐにマリアの歌詞を追いました。温かくて、優しくてそして強い説得力のある歌詞は、すんなりと胸に落ちていきました。そして長生先生の音の息吹によって、清水安三先生の愛と希望と夢と信念を歌声で表現出来るようになり、安三先生の魂が、言葉となり、音楽となり私の心を揺さぶりました。

昨今「芸術」に対する風当たりが強くなっていますが、新型コロナの影響も重なったため、芸術に肌で触れる機会が減ってきております。今回ご協力を頂いております芸術文化学群の先生方は、長年、「芸術」を追求してこられた方々ばかりです。芸術文化学群の持ち味を余すことなく発揮できるのではないかと期待しております。ご来場の皆様とは、同じ時間と空間を共有出来る貴重な時間になることでしょう。

混沌としている現代、「愛と希望と夢と信念」なく、どのようにして生きていけば良いのでしょうか。「愛と希望と夢と信念」は、石ころみたいに(まだ見ぬ国へ)、(焼け野の国に)、祈れば必ず、の曲中でも歌われる重要な歌詞でもあります。

安三先生に、「石ころの生涯、いい公演だったね」とお褒め頂けるよう、全力で務めさせて頂きます。最後までお楽しみ頂けますと幸いです。



小林玲子  
芸術文化学群 音楽専修 教授  
声楽家・オペラ歌手

## CAST



植木紀夫 音楽専修 教員



ピアノ

小早川朗子 音楽専修 教員

パイプオルガン

湊恵子 音楽専修 教員



マリア

小林玲子 音楽専修 教員

ナレーター

古今亭菊千代 文学部 卒業生/落語家

ヤスゾー(第一、二部)

若月大河 演劇・ダンス専修3年

ヤスゾー(第三部)

三村聰 演劇・ダンス専修 教員

清水美穂

鈴木愛実 音楽専修 卒業生

清水郁子

根本佳菜 音楽専修 卒業生

牧野虎次牧師

竹井佑輔 音楽専修 卒業生

天の声(声)

土橋敏良 大学院 卒業生/キリスト教センター職員/学園チャップレン

清水ウタ/女行商人

三村聰 演劇・ダンス専修 教員

中学生/文部省役人

西村颯 演劇・ダンス専修1年

ヴォーリス牧師(声)

カーター ティモシー 音楽専修 教員

中国人の母

韓丁囁 健康福祉学群3年

船上の引揚者1

木下雅之 リベラルアーツ学群1年

船上の引揚者2

秋田憲伸 リベラルアーツ学群4年

賀川豊彦牧師(声)

小池一夫 文学部 卒業生/桜美林学園 理事長

文部省課長

和田満 大学院 卒業生/総務部兼総合企画部 職員

黒子

高橋卓臣 演劇・ダンス専修3年

黒子

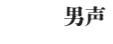
丹野颯也 演劇・ダンス専修3年



ソプラノ 大渕優子 「群読音楽劇 銀河鉄道の夜2022」出演  
 春日井萌子 演劇・ダンス専修3年  
 鈴木愛実 音楽専修 卒業生  
 堤田延子 文学部 卒業生/事業開発部 職員  
 根本佳菜 音楽専修 卒業生  
 韓丁囁 健康福祉学群3年  
 依田遙香 音楽専修1年



荒田幸紀 演劇・ダンス専修4年  
 歌川大喜 音楽専修1年  
 大谷亜紀 国際交流センター 職員  
 小林花菜江 音楽専修2年  
 中村紗菜 音楽専修 卒業生/学務部 多摩キャンパス事務室 職員  
 那須準子 「オラトリオ」2010、2011、2012、2013、2014出演

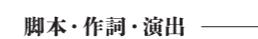


青山史愛 「オラトリオ」2016、2017、2018出演  
 秋田憲伸 リベラルアーツ学群4年  
 江口海希 音楽専修 卒業生  
 木下雅之 リベラルアーツ学群1年  
 芹野浩三 学務部 東京ひなたやまキャンパス事務室 職員  
 竹井佑輔 音楽専修 卒業生  
 西村颯 演劇・ダンス専修1年  
 長谷川康希 音楽専修2年  
 堀潔 リベラルアーツ学群 教員

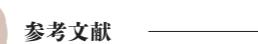


新井くらら 演劇・ダンス専修3年  
 新ヶ江天音 演劇・ダンス専修3年  
 長谷川海音 演劇・ダンス専修3年  
 植松真愛 演劇・ダンス専修1年  
 大戸咲季 演劇・ダンス専修1年  
 古賀あさひ 演劇・ダンス専修1年

## STAFF



脚本・作詞・演出 能祖将夫 演劇・ダンス専修 教員  
 作曲 長生淳  
 合唱指導 植木紀夫 音楽専修 教員  
 稽古ビアノ 小早川朗子 音楽専修 教員  
 演技指導 三村聰 演劇・ダンス専修 教員  
 振付 中川絢音 演劇専修 卒業生/水中めがね∞  
 振付助手 山田茉琳 演劇専修 卒業生  
 舞台監督 田中伸幸 演劇・ダンス専修 教員  
 照明 芦辺靖 演劇・ダンス専修 教員  
 音響 斎藤美佐男 演劇・ダンス専修 教員  
 衣裳 中村洋一  
 衣裳アシスタント 増田早紀  
 録音(声) 城野直樹 ビジュアル・アーツ専修 教員  
 パネル製作 林秀紀 ビジュアル・アーツ専修 教員  
 撃毫 「学而事人」清水安三  
 「工且読書」袁英明 演劇・ダンス専修 教員  
 衣裳協力 東京衣裳(株)  
 小道具協力 「チャイニーズリネン」袁英明 演劇・ダンス専修 教員  
 「ポケットバイブル」佐原光児 芸術文化学群 教員/大学チャップレン  
 学園歌編曲 松岡邦忠 音楽専修 教員  
 譜めくり 橋口菜美 音楽専修 卒業生  
 楽曲交渉 「Ten Thousand Strong」国際交流センター  
 写真提供 学園史編さん室  
 パンフレットデザイン 小西俊也 ビジュアル・アーツ専修 教員  
 制作 白井美優 演劇専修 卒業生/(有)ゴーチ・プラザーズ  
 赤羽ひろみ 演劇専修 卒業生/(有)ゴーチ・プラザーズ  
 制作助手 佐藤栞 演劇専修 卒業生  
 プロデューサー 能祖将夫 演劇・ダンス専修 教員  
 演出助手 川上日菜乃 演劇・ダンス専修4年  
 演出部 小澤ひなた 演劇・ダンス専修1年  
 照明部 浅海菜々子 演劇・ダンス専修4年  
 飯塚琴音 演劇・ダンス専修4年  
 萩原稔 演劇・ダンス専修4年  
 石田さくら 演劇・ダンス専修3年  
 松本七海 演劇・ダンス専修3年  
 高野葉月 演劇・ダンス専修2年  
 佐藤美咲 演劇・ダンス専修2年  
 主催 100周年記念事業実行委員会  
 企画・制作 桜美林大学 芸術文化学群



参考文献 山崎朋子『朝陽門外の虹—崇貞学園の人びとー』岩波書店 2003年  
 清水安三『石ころの生涯』改訂増補第5版 桜美林学園 2009年  
 清水安三『希望を失わず』桜美林学園出版会 2020年  
 桜美林学園チャップレン会『無我夢中 桜美林学園の創立者・清水安三の信仰と実践』新教出版社 2022年

※「演劇・ダンス専修」「音楽専修」「ビジュアルアーツ専修」は芸術文化学群の専修

# BIOGRAPHY

## 第一部 起きろ石ころ

- 1891 滋賀県高島郡新儀村(現・高島市新旭町)に生まれる(6月1日)①  
 1896 父・弥七永眠  
 1906 滋賀県立第二中学校入学。W.M.ヴォーリズと出会う(安三14歳)②  
 1908 日本組合大津基督教会で白石矢一郎牧師より受洗(安三17歳)  
 1910 同志社神学校(同志社大学神学部)入学(安三18歳)③  
 1914 唐招提寺を訪問し中国への恩返しを決意する  
 1915 京都平安教会でペトキン宣教師殉教の話を聞いてさらに  
 中国伝道への決意を固める  
 1917 大阪で中国行きの宣教師として送別会(5月29日)  
 奉天(現・瀋陽)に到着(6月5日)④



①滋賀県高島郡の生家



②ヴォーリズ牧師



③新島襄 (同志社社史資料センター提供)



④中国に渡った日本人宣教師第一号

## 第二部 崇貞学園物語

- 1918 横田美穂と結婚(安三26歳)⑤  
 1919 北京に移り、中国語の学習に励む  
 1920 中国華北地方での大旱害に伴う飢饉の深刻化⑥  
 1921 災童収容所を作り679名(資料によつては799名)の児童を収容  
 朝陽門外に崇貞工読女学校設立(安三29歳)⑦⑧  
 長男・泰(たい)誕生  
 1922 長女 星子(ほしこ / ほし)誕生  
 1923 大阪教会で按手を受け正教師(牧師)となる(11月)  
 1924 オーバリン大学留学(9月)⑨  
 1926 オーバリン大学卒業(B.D. 学位取得)、一時帰国  
 1927 「基督教世界」誌編集主任 次男・畏三(いぞう)誕生  
 1928 同志社大学講師として中国政治思想史、東洋史、中国史、  
 中学哲学史を担当(1932年に辞任)  
 1932 近江兄弟社北京駐在員  
 1933 清水美穂結核で永眠(美穂38歳)  
 1935 小泉郁子と結婚(安三45歳、郁子43歳)⑩  
 崇貞学園と改称  
 1937 北京を戦禍から守るために、日中両指令官にかけ合う  
 1939 社会事業「愛隣館」開設、館長として就任「朝陽門外」朝日新聞社より出版  
 1940 アメリカでの崇貞学園募金講演旅行から北京帰省時に、  
 北京在住の日本軍憲兵隊よりドル買いの疑いで取り調べを受ける  
 母・清水ウタ永眠94歳、臨終の際に洗礼を受ける  
 1945 玉音放送後(8月15日)、韓国朝鮮人生徒たちに  
 日本の罪を謝罪し朝鮮国の独立を祝う  
 北京市政府教育局により崇貞学園接收される(11月)(安三54歳)



⑤清水美穂 (朝日新聞社『朝陽門外』グラビアから)



⑥馬車を連ねて飢饉の子供たちを救いに行く安三たち



⑦北京朝陽門外の崇貞学園(1930年頃)



⑧刺繡をする少女たち



⑨ジャン=フレデリック・オベリン



⑩清水郁子

## 第三部 桜美林学園物語

- 1946 米軍の上陸用軍艦にて中国を離れる(3月16日)  
 途中、生きる希望を失う  
 早朝東京着、焼跡で祈る(3月22日)  
 賀川豊彦氏と神田小川町交差点付近の路上で邂逅(3月23日)⑪  
 淀野辺に学校設立を決意(3月24日)  
 桜美林学園開校式(5月5日)⑫⑬  
 桜美林中学校設立認可  
 桜美林高等学校設立認可 桜美林教会(復活の丘教会)設立  
 桜美林短期大学英文科設立認可  
 桜美林学園募金キャンペーンのため北米南米旅行⑭  
 短期大学に家政科設置  
 荊冠堂チャペル完成⑮  
 清水郁子脳溢血で永眠(郁子71歳)  
 桜美林大学文学部(英文科、中文科)設立認可⑯  
 大学経済学部(経済学科)設立認可  
 米国オーバリン大学より名誉博士号授与  
 大学経済学部に商学科を設置  
 同志社大学より名誉神学博士号授与(安三83歳)  
 桜美林高校野球部夏の甲子園大会に優勝⑰  
 『石ころの生涯』初版本をキリスト新聞社より出版⑱  
 財団法人善行会より金賞受賞  
 キリスト教文化協会よりキリスト教功労賞受賞  
 紺綬褒章受章⑲  
 心不全のため96歳で永眠⑳



第三部 桜美林学園物語

- 1947  
 1948  
 1950  
 1951  
 1955  
 1959  
 1964  
 1966  
 1968  
 1972  
 1975  
 1976  
 1977  
 1979  
 1985  
 1988



⑪賀川豊彦牧師



⑫設立当初の桜美林高等女学校



⑬淀野辺を行く引揚げ姿の安三と郁子  
(背景は当時の木造校舎)



⑭寄付募集の国内行脚姿  
(販売用著書を背負って)



⑮荆冠堂チャペル完成



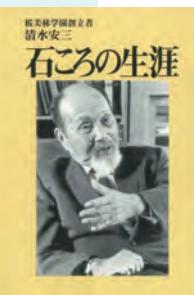
⑯桜美林大学一期生学生募集ポスター



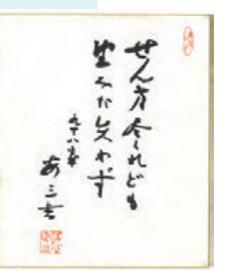
⑰桜美林高等学校野球部  
夏の甲子園大会で優勝



⑲紺綬褒章受賞(94歳)



⑳「石ころの生涯」表紙



㉑召天数日前の絶筆  
「せん方今れども望みを失わず 98歳安三書」

## ■ NUMBER 作詞：能祖將夫 作曲：長生淳

### 第一部 起きろ石ころ

- M1 とどまるべきぞ桜の園に 短歌 清水安三
- M2 石ころみたいに～この畦道に～
- M3 劣等生の石ころ
- M4 救いを求めて
- M5 貧乏牧師
- M6 Doshisha College Song (録音) 作詞 W.M. Vories 作曲 Carl Wilhelm
- M7 石ころみたいに～まだ見ぬ国へ～

### 第二部 崇貞学園物語

- M8 雨は降らないけれど
- M9 讃美歌494番(1954年版)「わが行く道いついかに」  
作詞 Martha Anna Cook 作曲 Phillip Phillips  
訳『讃美歌』(1903年版)讃美歌委員会
- M10 Ten Thousand Strong (オベリンカレッジソング) (録音)  
作詞・作曲 Jason Noble Pierce
- M11 学而事人

### 第三部 桜美林学園物語

- M12 ウクライナは滅びず(オルガンのみ) 作曲 Mykhailo Verbytsky
- M13 石ころみたいに～焼け野の国へ～
- M14 ふちのべ
- M15 海ゆかば(ピアノのみ) 作曲 信時潔
- M16 桜の美しい林と書いて
- M17 貧乏牧師
- M18 望み失わず
- M19 桜美林学園歌 作詞 清水安三 作曲 小川留三
- M20 とどまるべきぞ桜の園に 短歌 清水安三
- M21 祈ればかならず

音源提供

Doshisha College Song 「同志社のうた」(株) 同志社エンタープライズ  
日本音楽著作権協会(出) 許諾第T-110359号  
Ten Thousand Strong Oberlin College Archives

## ■ LYRICS

### とどまるべきぞ桜の園に

作詞 清水安三(短歌より) 作曲 長生淳

今一度 生れ来たらば 今一度  
同じ生涯 生きむとぞ思う  
わが靈よ 天に帰らずとこしえに  
とどまるべきぞ 桜の園に  
とどまるべきぞ 桜の園に  
桜の園に

### 貧乏牧師

作詞 能祖將夫 作曲 長生淳

貧乏 貧乏牧師  
なってくれよう  
なんて豊かな  
貧乏牧師

### 学而事人

作詞 能祖將夫 作曲 長生淳

Learning 学而  
and Labor 事人  
ここに知識があるのなら  
学んで自分のものにして  
そしてつかえよう  
人に あなたに  
ここに技術があるのなら  
修めて自分の身につけて  
そしてつかえよう  
人に みんなに  
Learning 学ぼう  
and Labor そしてつかえよう  
隣のあなたに  
Learning and Labor 学而事人  
一番の幸せのため  
煙にクワを入れること  
種を蒔き  
麦を米を野菜を育てること  
知識も技術も



and Labor  
たとえばそれは?  
とれた麦を  
米を野菜を  
みんなと一緒に食べること  
知識も技術も  
Learning and Labor  
たとえばそれは?  
砂漠の中に泉があつて  
泉のまわりに緑があつて  
学んで人につかえれば  
緑はどんどん広がつてゆく  
砂漠のような社会でも?  
砂漠のような社会でも

## 桜の美しい林と書いて

作詞 能祖将夫 作曲 長生淳

さくら さくら

桜の美しい林と書いて

桜美林

つどえここに

夢を見る者

さくら

桜の花は散るけれど

心に咲かす花の心は

散らずにずっと見つめてる

そぞぎよ 愛よ

ささげよう 愛を

悲しみの風が吹いても

苦しみの嵐の中でも

さくら

桜は咲かせる 愛の花

きっとあなたもここで花咲く

さくら さくら

桜の美しい林と書いて

桜美林

学べここで

夢を追う者

さくら

桜の花は散るけれど

心に咲いた花の心は

散らずに天を仰いでる

そぞぎよ 愛よ

ささげよう 愛を

## 望み失わず

作詞 能祖将夫 作曲 長生淳

光うばわれ 力も尽きて

それでも奏でる豊琴は

ただ一本の糸しかないのに

乙女よ あなたは

弾くのをやめない

せんかた

せんかた尽きてしまっても

闇に閉ざされ あしたも見えず

それでも抱えた豊琴は

ただ一本の糸しかないのに

乙女よ あなたは

聴くのをやめない

せんかた

せんかた尽きてしまっても

失わず

望み失わず

希望の音を奏でよう

それでも奏でる豊琴は

ただ一本の糸しかなくとも

乙女よ わたしは わたしは

失わず

望み失わず

希望の音を奏でよう



ワッツ「希望」(清水安三顕正会提供)

## 祈ればかならず

作詞 能祖将夫 作曲 長生淳

夢を見た

あこがれを追って

形にした

大きな大きな夢を語った

ホラ吹きと呼ばれても

大きな大きな幻を追って

花を咲かせる

あなたが求めたあこがれは

愛と希望と夢と信念

あなたが咲かせるその花は

自由 平等 正義と平和

奇跡を信じて

あなたは祈った

祈りなきところに奇跡なし

祈ればかならず

祈ればかなう

祈ればかならず

あなたが求めたあこがれは

愛と希望と夢と信念

あなたが咲かせるその花は

自由 平等 正義と平和

今日の日の

悲しみも苦しみも

明日の日の

喜びの種となって

大きく大きく育ちますように

今は知らずとも 後に知るから

今は知らずとも 後に知るから

今日の日

この人生を清く正しく美しく

となりのあなたに みんなのために

感謝と祈りを

となりのあなたに みんなのために

奇跡を信じて

あなたは祈った

祈りなきところに奇跡なし

祈ればかならず

祈ればかなう

祈ればかならず

あなたが求めたあこがれは

愛と希望と夢と信念

あなたが咲かせるその花は

自由 平等 正義と平和

せんかた尽くれども望み失わず

神もし用いたもうものならば

石ころも

神の子となる

アーメン